

性的マイノリティが 働きやすい職場づくりに関するアンケート

【調査結果 概要】

1 調査の概要

① 調査地域	兵庫県全域
② 調査対象	兵庫県内の常時使用する従業員の数が50人以上である事業所等
③ 標本数	5,320社
④ 抽出方法	対象条件を満たす兵庫県内の事業所または事務所 悉皆抽出
⑤ 調査方法	配付：郵送 回収：インターネット、メール、ファックス
⑥ 調査期間	令和6年12月～令和7年3月
⑦ 有効回答数（率）	930社（17.5%）
⑧ 調査実施部署	兵庫県県民生活部総務課人権推進室

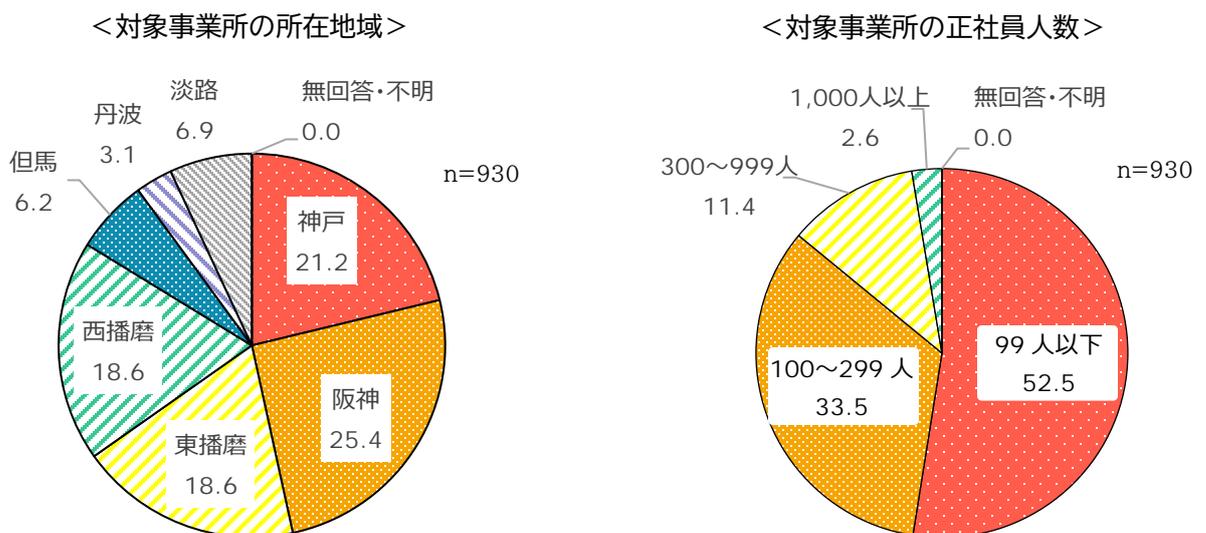
2 対象事業所の概要

(1) 対象事業所の所在地域

対象事業所の所在地域は、「阪神」(25.4%)が最も高く、次に「神戸」(21.2%)、「東播磨」(18.6%)、「西播磨」(18.6%)となっている。

(2) 対象事業所の正社員数

対象事業所の正社員数は、「99人以下」(52.5%)が最も高く、次に「100～299人」(33.5%)、「300～999人」(11.4%)となっており、「1,000人」以上は僅かにとどまる。

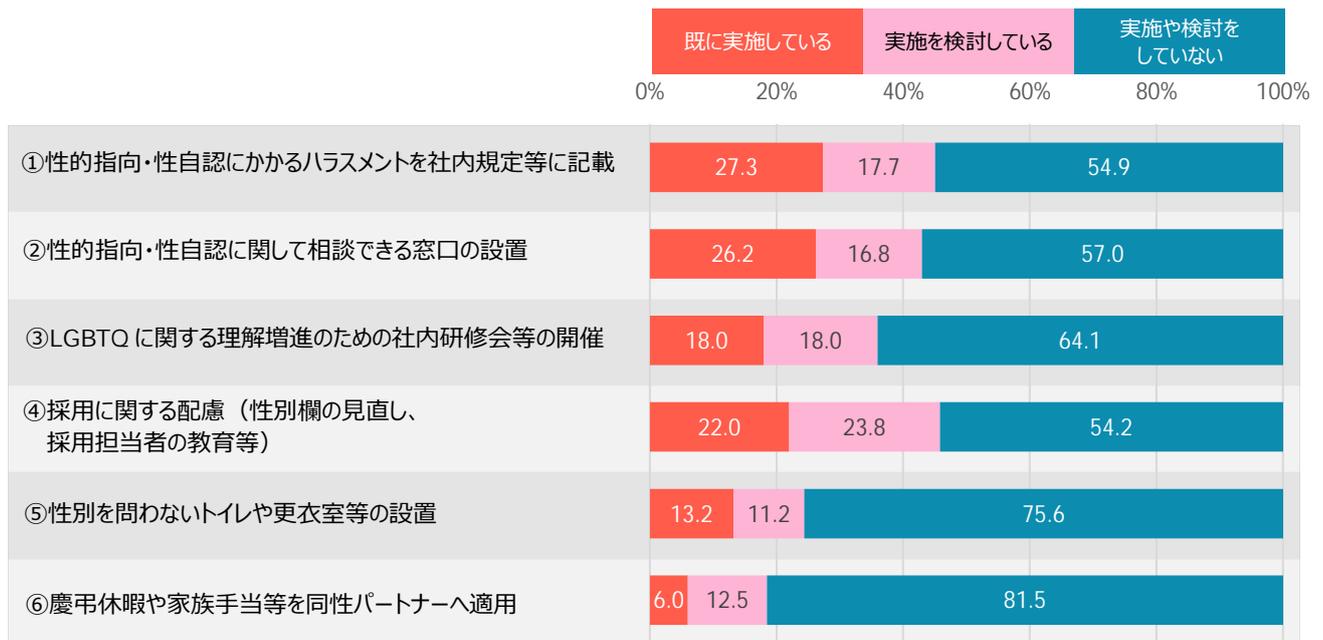


3 性的マイノリティのための取組について

(1) 性的マイノリティのための6種の取組の実施・検討状況

下記の6種の取組に対する実施率（「既に実施している」）は、「①性的指向等に関するハラスメントについて社内規定等に記載」の27.3%が最も高く、続いて「②性的指向・性自認に関して相談できる窓口の設置」（26.2%）、「④採用活動に関する配慮」（22.0%）の順となっている。

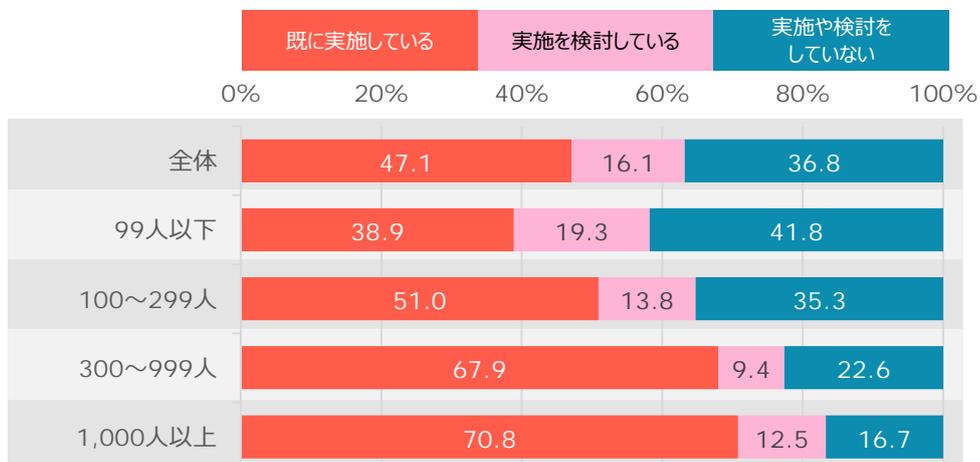
n=930



(2) 正社員数別でみる6種の取組の実施・検討状況

前出の6種の取組すべてに対して「実施や検討をしていない」事業所は、全体で36.8%となっている。その事業所を正社員数別にみると、正社員数99人以下の事業所（41.8%）が最も高く、正社員数1,000人以上の事業所（16.7%）との差は、25.1ポイントに上る。

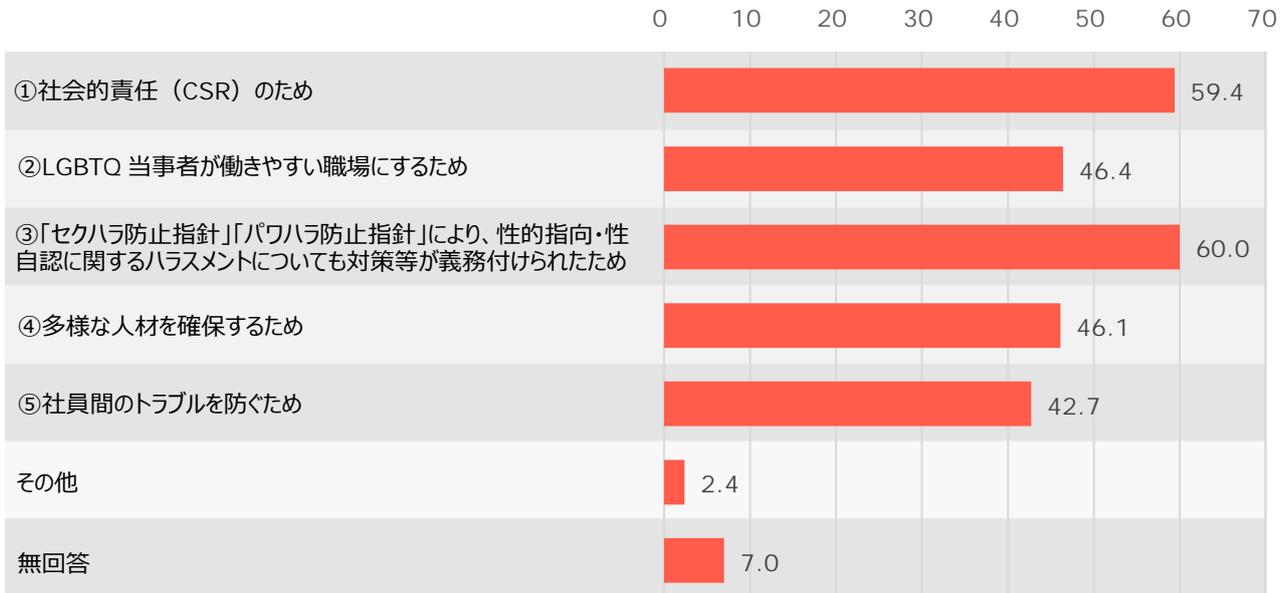
n=930



(3) 性的マイノリティのための取組を実施・検討している理由

前出の6種の取組に対して「既に実施」か「検討中」の取組ありと回答した事業所に、実施や検討している理由を複数回答で尋ねた結果は、「③セクハラ・パワハラ防止指針で企業等に対策が義務付けられたため」が60.0%で最も高く、続いて「①社会的責任(CSR)のため」(59.4%)、「②LGBTQ当事者が働きやすい職場にするため」(46.4%)、「④多様な人材を確保するため」(46.1%)となっている。

n=588



(4) 性的マイノリティに関する取組を進める上での課題

すべての対象事業所に、性的マイノリティに関する取組を進めるうえでの課題を複数回答で尋ねた結果は、「⑥トイレ等の環境整備が、費用面や建物の構造上、困難である」の59.0%が最も高く、続いて「②当事者のニーズや意見を把握することが難しい」(57.5%)、「①社内においてLGBTQについての正しい知識や理解が足りない」(49.1%)となっている。

n=930

